2021 年度 環境経営レポート

（対象期間：2021 年10月1日～ 2022 年9月30日）

コウ・コーポレーション株式会社

作成日： 2022年11月25日
改訂日：

環境経営方針

＜環境経営理念＞

コウ・コーポレーション株式会社は、社会インフラとしての土木、建築工事の事業活動を行うことが、環境に大きな影響を与える事を認識し、環境に配慮した取組や地域の環境活動を自主的・積極的に行います。
「顧客が安心し、満足し、誇りをもてる仕事を遂行しよう」の基本理念に基づき、従業員一丸となって環境経営を継続的に改善します。

＜環境保全への行動指針＞

１．事業活動とその製品が与える環境負荷を低減するために、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組みます。

２．環境に関連する法規・規制・協定・自主基準等を遵守します。

３．省資源およびエネルギー使用量削減に努めます。
具体的に次の事に取り組みます。

①電力、自動車燃料の省エネによる二酸化炭素排出量の削減
②廃棄物の削減及びリサイクルの推進
③水使用量の削減
④グリーン購入の推進
⑤環境に配慮した工法の推進
⑥化学物質の適正管理
⑦社会貢献活動の推進
⑧事業活動における３Ｒ（省資源、再使用、再生利用）の推進

上記の行動指針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、すべての従業員に周知して、環境保全活動に取り組みます。

制定日: 2020/10/1
改定日： 2021/4/28
代表取締役　**髙原　英子**

□組織の概要　　更新日：　2022年11月7日

⑴ 名称及び代表者名

コウ・コーポレーション株式会社

代表取締役　髙原　英子

⑵ 所在地

本　　社　　徳島市川内町鶴島３７５－１

資材置場　　徳島市川内町鶴島３９８－１

⑶ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	課長	髙原　彰吾
担当者	総務部	鈴木　照美

⑷ 事業内容

建設業（土木工事、建築工事）

⑸ 事業の規模

売上高	39　百万円
従業員	8 名
延べ床面積	558 ㎡
資材置場	1100 ㎡

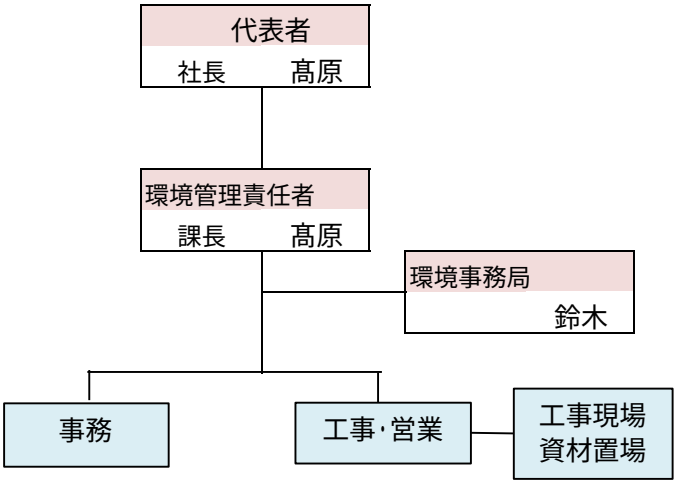
⑹ 事業年度　　10月1日～9月30日

□認証･登録の対象組織･活動

登録組織名：	コウ・コーポレーション株式会社
対象事業所：	本　　社 資材置場
対象外：	なし
活動：	建設業（土木工事、建築工事）

□環境経営組織図及び役割･責任･権限表

更新日：　2019年10月1日



	役割･責任･権限
代表者（社長）	･環境経営に関する統括責任
	･環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、情報等経営資源を準備
	･環境管理責任者を任命
	･環境経営方針の策定･見直し
	･環境経営目標･環境経営計画書を承認
	･代表者による全体の評価と見直し、指示
	･環境経営レポートの承認
環境管理責任者	･環境経営システムの構築、実施、管理
	･環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	･環境経営目標･環境経営計画書を確認
	･環境活動の取組結果を代表者へ報告
	･環境経営レポートの確認
環境事務局	･環境管理責任者の補佐
	･環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	･環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	･環境活動の実績集計
	･環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	･環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	･環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	･環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	･自部門における環境経営方針の周知
	･自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	･自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	･自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	･自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	･試行･訓練を実施、記録の作成
	･自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	･環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	･決められたことを守り、自主的･積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	83,992	79,859	72,624
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.065	0.060	0.058
産業廃棄物排出量	トン	83.25	42.01	162.82
総排水量	m^3	536	441	354

※二酸化炭素排出係数　0.533　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数
※負荷の実績は工事現場を含む

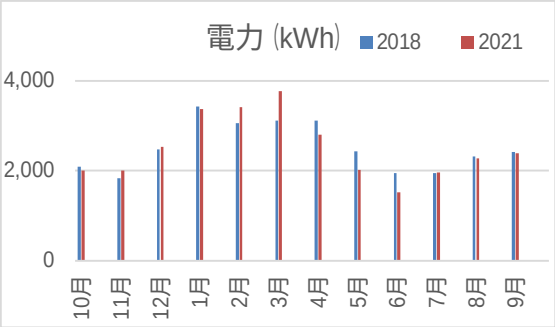
□環境経営目標及びその実績

項目 ＼ 年度		基準値	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	全　期	16,013	15,773	15,988	×	15,693	15,613
	上半期	8,505	8,378	9,097	×		
kg-CO2	基準年度比	2018年	98.5%	99.8%	×	98.0%	97.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	81,279	80,060	56,635	○	79,653	79,247
		43,686	43,030	27,461	○		
kg-CO2	基準年度比	2018年	98.5%	69.7%	○	98.0%	97.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	97,292	95,833	72,624	○	95,347	94,860
二酸化炭素排出原単位	CO2/売上高	0.003243	0.003194	0.001862	○	0.003178	0.003162
一般廃棄物の削減	kg	0.0665	0.0655	0.0580	○	0.0652	0.0648
		0.0360	0.0355	0.0300	○		
(焼却分のみ)	基準年度比	2018年	98.5%	87.2%	○	98.0%	97.5%
産業廃棄物の適正管理	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m^3	758	682	354	○	667	652
		393	354	201	○		
	基準年度比	2018年	90%	47%	○	88%	86%
グリーン購入の推進	行動目標 (次項による)						
環境に配慮した工事の推進	行動目標 (次項による)						
化学物質の適正管理	行動目標 (次項による)						
社会貢献活動	行動目標 (次項による)						
事業活動における3Rの推進	行動目標 (次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成　×未達成
活動:◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成となりました。取組はよく行われていました。今年は猛暑日が続き他県では気温40℃の地点が観測されました。熱中症や感染症対策もあり目標達成は今後も難しいですが、節電の取組努力を続けていきます。
・空調温度の適正化（冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・空調が必要な区域や時間を限定的にする。	○	
・エレベーターの使用を控え、階段を使用する	○	

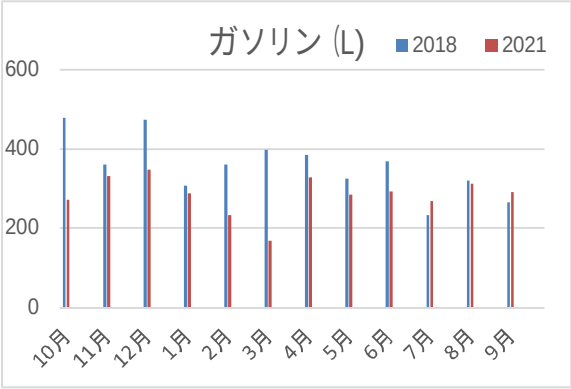


取組紹介欄

こまめな節電

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018	2,078	1,824	2,475	3,423	3,050	3,107	3,106	2,429	1,942	1,942	2,318	2,417
2021	2,001	2,001	2,525	3,361	3,410	3,770	2,803	2,012	1,515	1,955	2,268	2,376

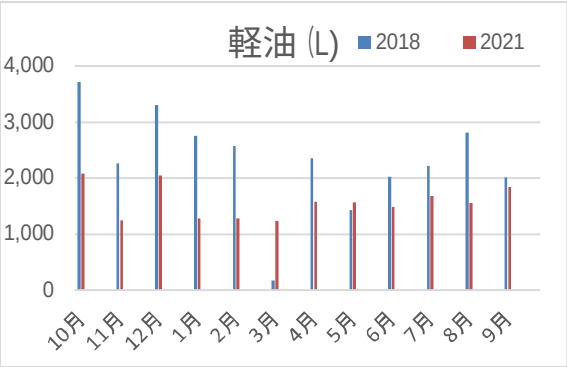
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成できました。車両の点検は専門的な所は、社長に一緒に見てもらい各自責任をもって定期的に行いました。エコ運転の取組も話し合い、よく行われていました。
・車両の定期点検	○	
・急発進、急加速、急停止をしない	○	
・車内の荷物を整理して不要な荷重をかけない	○	



取組紹介欄

車両の点検

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018	479	361	473	307	360	397	384	325	368	233	320	265
2021	272	331	347	288	233	169	328	284	293	269	312	291

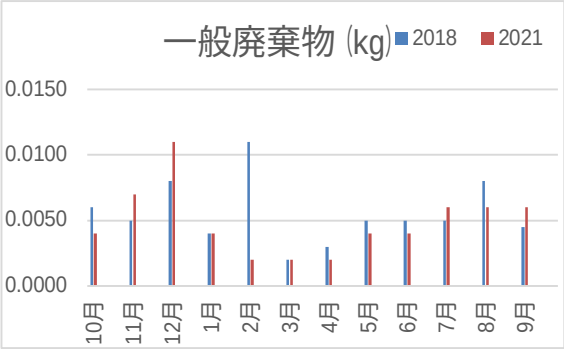


取組紹介欄

エコドライブについて
意見交換

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018	3,716	2,266	3,302	2,760	2,578	173	2,360	1,429	2,029	2,219	2,817	2,013
2021	2,076	1,243	2,047	1,286	1,279	1,238	1,580	1,570	1,485	1,685	1,553	1,837

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度もきちんと分別して、社会福祉施設に持っていけました。このまま活動を続けます
・分別の徹底、資源ごみに提供	○	
・裏紙、カレンダーなどを使用する	○	
・資料のPDF保存	○	



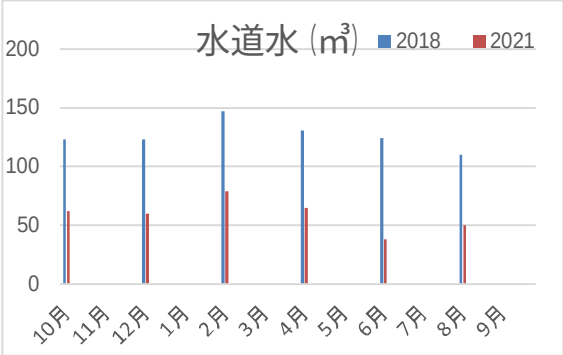
取組紹介欄

分別して資源ごみに

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018	0.0060	0.0050	0.0080	0.0040	0.0110	0.0020	0.0030	0.0050	0.0050	0.0050	0.0080	0.0045
2021	0.0040	0.0070	0.0110	0.0040	0.0020	0.0020	0.0020	0.0040	0.0040	0.0060	0.0060	0.0060

産業廃棄物の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	マニフェストの管理もできていました。
・分別の徹底	○	
・マニフェストの適正管理	○	
0		

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度も目標達成できました。これ以上の節水は無理と思いますが、引き続き取組を継続していきます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・蛇口をシャワー型にするなど水量を減らす	○	
・手洗い、洗物時には日常的に節水す	○	



取組紹介欄

節水の呼びかけ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018	123	0	123	0	147	0	131	0	124	0	110	0
2021	62	0	60	0	79	0	65	0	38	0	50	0

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	再生砕石を優先購入しました。事務用品もいつもどおりの手順でｸﾞﾘｰﾝ購入しました。
・事務用品のグリーン購入	○	
・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ等優先購入	○	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事前事後の点検整備を怠りなくする	○	重機の整備点検、オイル交換記録等工夫してきちんと整備できていました。

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・保管している化学物質はないか確認	○	化学物質の保管はないか確認しました。
		化学物質の使用はありませんでした。

社会貢献活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・アドプトに参加する	○	前期は工事が忙しくアドプトは行えませんでした。 年度が変わったら実施を計画しています。 カツオノエボシが小松海岸に打上られたので注意してくださいと、県から連絡がありました。また気温が高温の為夏の間はアドプトを中止しました。今年度は3回しかできませんでしたが、今年中にはさらに行う予定です。
0		

事業活動における3Rの推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	現場の活動記録を確認し評価しました。 型枠の再利用を推進しました。 工事の効率化を図り、工期内に安全に工事を終了できました。
・仮設材料を工夫し再利用を推進	○	

□2022年度 環境経営計画書

方針	目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール(月)											
				10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	総務			←→ 暖房管理						←→ 冷房管理			
		・服装を工夫してエアコンの使用を抑える	総務	点検			点検			点検			点検		
		・扇風機を使ってエアコン空気を攪拌する。	総務	点検			点検			点検			点検		
		・													
	自動車燃料による二酸化炭素削減	・建設現場の作業規模に応じた機械の使用	工事	点検			点検			点検			点検		
		・建設機械の事前事後の点検を怠らない	工事	点検			点検			点検			点検		
		・運搬ルートを見直し、移動距離の短縮を図る	工事	点検			点検			点検			点検		
		・													
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	・分別をして資源ごみに提供する	総務			点検			点検			点検			点検
		・コピー機使用後は設定をリセットする	総務			点検			点検			点検			点検
		・													
	産業廃棄物の適正管理	・マニフェストの適正管理	工事			点検			点検			点検			点検
		・廃棄物を見えるかする(量、金額、委託先)	工事												
		・													
水使用量削減	水道水の削減	・洗車は泥を落としてから行う	工事	点検			点検			点検			点検		
		・手洗い、洗物時には日常的に節水する	総務	点検			点検			点検			点検		
		・													
グリーン購入	グリーン購入推進	・有害性の少ない資材の購入	工事												
		・事務用品のグリーン購入(4個以上)	総務												
		・													
環境に配慮した工法	環境に配慮した工法推進	・始業前点検を徹底する	工事												
		・施工方法や作業方法を工夫する (配慮した件数/工事総数)	工事												
		・													
化学物質	化学物質の適正管理	・化学物質の保管はないか点検する(年4回)	工事			点検			点検			点検			点検
		・													
		・													
社会貢献活動	社会貢献活動	・アドプトに年4回参加する	総務												
		・													
		・													
事業活動の3R	事業活動における3Rの推進	・仮設資材を工夫して再利用する(活動件数/工事総数)	工事												
		・													
		・													

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産廃収集･運搬業者及び産廃処理業者との契約書、マニフェスト、報告書の作成
建設リサイクル法	請負契約書、分解解体の方法、解体工事費用の報告、解体工事の届出
資源有効利用促進法	再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書の作成
家電リサイクル法	特定家庭用機器排出は、小売店に料金を支払い引渡
騒音規制法	特定建設作業の市町村へ事前確認･届出書
振動規制法	特定建設作業の市町村へ事前確認･届出書
オフロード法	特定特殊自動車排出ガス規制車のシール確認
建築基準法	建築確認、内外部仕上表、ｼｯｸﾊｳｽ対策図面等確認
浄化槽法	定期点検･清掃･水質に関する検査
大気汚染防止法	解体･修築における廃石綿除去作業　アスベスト事前調査、届出、作業基準の遵守
建築物省エネ法	省エネ基準適合義務(建築物ｴﾈﾙｷﾞｰ消費性能確保計画書の提出)省エネ計画の提出
省エネルギー法	エネルギーの使用の合理化努力
フロン排出抑制法	「事前確認書」の提出、第一種特定製品（業務用･建設機械のエアコン）簡易点検実施等
地球温暖化対策推進法・徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動の対策推進条例	事業活動等(製品の製造、販売等)に伴う温暖化ガスの排出抑制、温室効果ガス排出削減計画･実施状況の報告書の作成報告等
労働安全衛生法	石綿等の飛散性及び保温材等の解体の作業計画、作業主任者、測定記録の提出保管
消防法（危険物、火災、消防関係）	危険物の保管、防火管理義務、消防用設備の設置･点検
PRTR法	第1種指定化学物質の排出量、移動量の把握･届出
グリーン購入法	環境物品の購入
徳島市廃棄物の処理及び再利用に関する条例	廃棄物の抑制、適正処理
徳島市ポイ捨て及び犬のふんに関する条例	ポイ捨て禁止
徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例	災害時の復旧支援活動として積極的に協力すると共に社員の安全確保に努める

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　地震の発生

■実施日：　2022/6/24	■実施場所　本社
■参加者：　髙原、髙原、中元、播磨、坂口、鈴木、髙原	■実施内容： ・通報訓練、避難訓練
■評価： 最寄りの避難所確認、各自の役割を再確認しました。	手順書の変更の必要性 □ あり　☑ なし

■実施状況の様子

□代表者による全体の評価と見直し･指示

実施日：2022年11月15日

【前回の指示への取組結果】

2021年度は実績で電力による二酸化炭素削減が目標未達成となりました。エアコンの温度管理や時間管理はよく実践されていました。主な原因というのは無いようなので、温度管理を厳しく心がけて取組んでいきます。

＜情　報＞		＜見直し･指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） ･前年度同様に感染予防対策の徹底 ･利害関係者からの苦情･要求はありませんでした。		◇環境方針 昨年同様に環境活動を行う
◇環境経営目標･計画の達成状況 ･電力による二酸化炭素削減以外は目標を達成できました。特に水使用量かなり削減できました。	➡	◇環境経営目標･環境経営計画 現在の環境経営方針に沿って、特に変更なく日常の流れの中で、取組をします。
◇その他 昨年度から引き続き 手洗いや消毒、マスク着用、体調管理を引き続き徹底して行う。		◇実施体制他 変更なし

2021年度はコロナ感染者が過去最高を大幅に更新し、とても身近な人に感染がみられました。
現在は、第8波がはじまりだしていると報告されてます。ただ、感染に対する意識に少し変化が出始め、

外出や外食、県外出張等には、注意して行きましょうという感じです。
コロナとインフルエンザの同時流行も言われています。今後もさまざまな環境変化が起こります。
感染対策は今後も継続しつつ、社会活動にも力を入れ、二酸化炭素排出量の削減活動を今年も行います。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標･計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

小松海岸ノドフト（こみひろい）